

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2014年10月号《No.4》

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者として思いなさい。喜ぶ人と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

ローマ人への手紙12章9節—10節

主題

国際会長	Isaac Palathinkal	「言葉より行動を」「今すぐやろう！」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
東日本区理事	田中 博之	「誇りと喜びを持って」
あずさ部長	望月 勉	「スピードをもって前に進もう」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 4 q 1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

9月出席率91% 在籍者11名 出席者10名 ネット1名 ゲスト3名 ニコニコ 8770円

君たちはどう生きるか

松田 啓

今年2月当時YMCA同盟の永岡 美咲さんの卓話で「12年から世界的に「チェンジエージェント」自分で自分をチェンジしYMCAをチェンジし変革する人材育成が始まったという話があった。その中に世界のYMCAはその場にながらにして繋がりあっている実感を得るために、集まった若者たちが手にしている紙パックの飲み物を例にして人と人の係わり合いの話からはじめた・・・聞きながら吉野源三郎著、君たちはどう生きるかを思い出していた。叔父さんにつけられたニックネームコベル君は中学2年生。粉ミルクが自分の口に入るまで顔も知らないどれだけの人の手を経ているかを、思いつくまま書き連ねてみてびっくりする。そして「人間分子の関係、網目の法則」と名付ける。

コペル君は叔父さんとのやり取りで考えかたを深め成長してゆく、この本は昭和 12 年に初版が出ている、丁度私の誕生年だ。子供のとき読んだこの話は私にとって今も影響している。

「チェンジエジエジェント」の人材育成が一過性にならないよう心から願う。

9 月例会のようす

日 時 9月10日19時 場 所 西東京センター

司 会 伊佐ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット 受付 石丸・山本ワイズ

ゲスト吉田ワイズ(西クラブ) 冨子氏 (武蔵野リーダーOB)

卓話 私のYMCA人生 東京YMCA副総主事 菅谷 淳氏

早稲田の学生時代、早稲田教会の旨いカレーに魅かれて早稲田教会に出入りしました、引っ張り込んだのが現在早稲田教会の古賀牧師です、当時は名物牧師上林潤一郎師でした。

大学卒業し四大証券の一つに就職、早朝深夜勤務の激務の中、ある朝の会議で「お前らの中で電車やバスでお年寄りに席を譲るやつはいるか!」「はい」の返事に「社会人になったらそんなんじゃない駄目だ、お年寄りから席を奪え!」体力には自信がありましたが精神的に参ってしまい1年で見切りをつけました。

そして上林牧師に相談に行きYMCAのYの字も知らないYMCAに送りこまれました。

配属されたのは専門学校部門で学生と先生相手に15年勤めました、サラリーマンの挫折感からは救われましたが、その間頭では分っているYMCAは会員制度で成り立ちミッションに基づきそれを形にし、表している事を体感できずに居るとき、栃木YMCAに転勤になりました、そこでYMCAとは何なのか体感としてやっと分り会員と共に暮らす9年間、その9年間で今の自分を創っていると思います。

東京とはガラッと違い自分で判断したことは総て自分に返ってくる、とにかく大変でした。園児 300 人の幼稚園の園長も仕事のうち毎朝門に立って園児を迎えることに始まり午後は YMCA の英語や体育の授業、夜はリーダー会やワイズ、ワイズでは会計もやりました。ワイズの土日のボランティアにも参加し 40 日間休みなしの日もありました。そこでひらめいたのが家族を YMCA と Y's に引き込むことでした、戦場ヶ原のごみ拾いは子供たちは大好きです。又メンバーも YMCA と Y's がダブルしており一緒に汗だくで活動しました。YMCA は会員の集まりでスタッフは会員のために採用され会員のために働くという意識を強く持てました。

東京 YMCA に帰ってきたとき東陽町は見通しの甘さから学生の数は 1500 名から 100 名に減り、今は 250 名に挽回していますが、25 年間改約できない約束の家賃が 3 億 5 千万円残っていました。(YMCA には教育のプロ、キャンプや遊びのプロは大勢いるが本格的なマネジメントのプロが・・・)

そして 2011 年大断行の交渉で家賃 2 億になりましたがその後東日本大災害で本大災害で 2010 年度の決算は 2 億 8 千 6 百万円の赤字でした。

理事会や評議委員会で YMCA は後 3 年もつかといわれ、後がない、できる限りのことをしなければと経営のプロに入っていただき予算計画では我々の発想には無いこんなことまでと思うほどの切り詰めと欠員は不補充外と臨時雇い、2011 年度の決算では 5 千万円赤字が減りました、そして引き続きの断行で 2013 年度はなんと 5 千 6 百万円の黒字に成りました! いま東京オリンピックなどの追い風を感じて居りますが 600 人の職員中純粹の正職員は 80 人 YMCA のアイデンティティーが見えなくなって来てしまいました。

YMCA の先端事業とは何だ、Y ならではの働きが「人が人へサービスする」のであれば今ですぐに出来るサービスに飛びつきすぎたのではないかな。残された Y の職員は先端事業は何か考える組織風土にしなければ成りません。

それがしっかり出来て共感を得た時に、それに対して寄付・助成・会員が集まって来るのではないかと思います。

遅れをとってしまった YMCA に副総主事の想いと語りとはどまる所を知らなかった。

出た質問 八つの部門の責任者だけれど若手に責任委譲は?

ある放送局の重役はレコード室の女の子の名前まで覚えており、ちゃんと呼んでいた、それが下支えに・・・

これから Y の魅力をどうやって見えるようにしますか、はっきりした魅力があれば皆んな Y のほうを向きますね。

魅力論が続く中、これは私だけが感じて居る思い込みかもしれないが日本人独特の排他性を Y ももって居り副総主事にもしみこんでいるのを感じた、日本独特の排他性のうえに築かれた YMCA。私だけの思い込みなら平にご容赦を。

インドとモンゴル

宮内友弥

(パート 1)

8月7日からインドのチェンナイで開催された第71回国際大会に参加しました。エリア別参加者は、インド149名、アフリカ24名、アジア106名(内日本55名)、韓国21名、カナダ・カリブ2名、ヨーロッパ40名、ラテンアメリカ2名、南太平洋5名、米国4名の353名+ユース100名のこじんまりとした大会でした(当クラブからは、山本さんと宮内×2の3名参加)。今回は、アジア会計の役からも開放され時間的な拘束も無く気楽で、期間中に山本さんとゴルフも楽しむことができました。

大会にはIBCのTST Clubから山田さんとローズさんが参加されており今後のクラブ間の交流につき打合せをしました。その際に山田さんから「昨年新たに立ち上げたモンゴルYMCAに対し山田さんが総主事を務めるAPAY主導でPartnership Agreementを結び支援する事が決定し、それをサポートするワイズ新クラブをTST Clubが親クラブとなり設立する事になった」との話を伺い、IBCとして当クラブがどう協力出来るかを東京に持ち帰りクラブ内で諮る事を約束して別れました。

(パート 2)



検討結果、一気にTST Clubと共同で親クラブを引き受けることを決断し、チャーターナイトに向け慌ただしく準備に入りました。TST Clubと相談しながら贈呈する万国旗、ベル、ギャベルの手配やお祝いの記念品(当クラブからは、電波式からくり時計)手配等を行いチャーターナイトに臨みました。チャーターナイトはウランバートルで9月21日に行われ、会長宮内、書記渡邊が出席しました。当日は海外から19名(ISG西村, IPE Wichian, AP岡野, APE Edward, PAP Oliverの他香港から7名、シンガポールから3名、東日本区からは我々の他東京サンライズクラブ長津会長、同盟島田総主事の4名)が出席、ウランバートル郊外のMongolica Hotel & Resortにて行われ、香港部長James Kongの司式にて認証状の授与、新クラブ会長の挨拶、新メンバーの紹介と厳粛の内にも和やかな雰囲気で行われ、その後メンバーの家族も交えての夕食会へと移りました。新クラブは、会長も含め大半が30歳代の若いクラブです。

新クラブ概要

正式名称 Y Service Club of Ulaanbaatar

所属 Hong Kong District, South East Asia Region

メンバー数 20名(チャーターナイト当日は18名であったが、9月25日に新たに2名入会との連絡あり)

会長名 Mr. Javkhlantugs Ganbaatar(モンゴルYMCA理事長兼務)

紙面の都合上、滞在中のフェロウシップやモンゴルの様子について書ききれませんので次回以降に改めて紹介させていただきます。

<西東京 YMCA 便り>

村山 達哉

10月に入り、次第に涼しい日が多くなってきました。朝晩は少し肌寒いほどで、秋の訪れを感じられます。

さて秋は多くのイベントが開催される季節ですが、9月23日には東京YMCAインターナショナルチャリティーランが開催されました。当日は晴天に恵まれ、強い日差しに夏が逆戻りしたような気温でありましたが、無事に全チームが完走することができ、盛況のうちに終了いたしました。例年西東京センターでは、武蔵野多摩クラブ・八王子クラブよりチームの参加費をチャリティーしていただいております。今回は知的障がい児・者余暇活動「あおぞら・つばさの会」・「シャベルズ・いづみの会」から2チーム作り、エントリーしました。全85チーム中82番目、84番目という結果でしたが、どのメンバーの方も伴走するリーダーと一緒に、元気よく走り、襷をつなぐ姿がありました。

このチャリティーラン参加費による益金は、障がいを持つ子どもたちのプログラム支援として用いられます。西東京センターには、障がい児・者を対象としたプログラムが複数あり、今回のようなチャリティーによる支援を受けながら、活動を行っております。参加者にとって、より豊かなプログラムとなるよう、ボランティアリーダーとともに活動を展開してまいります。これからも変わらぬご支援・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

また、11月2日(日)には、サマープログラムの報告と思い出会を兼ねた毎年恒例の「西東京ファミリーフェスティバル」を開催いたします。「高尾の森わくわくビレッジ」に、西東京センターに関わる多くのファミリー、ボランティアリーダーが集まり、お祭りのような賑やかな1日となりますので、ぜひご参加いただけたらと思っております。

季節の変わり目となります。どうぞ体調など崩されませんようご自愛ください。

<西東京センター及び東京YMCAの主な予定>

- 10/5 発達障がい児 グループ活動「Smile」10月例会
国際協力募金(例会後、国立駅にて)
知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」10月例会
国際協力募金(例会後、三鷹駅にて)
- 10/7 ウィンタープログラム申込優先受付開始
ウィンタープログラム リーダーキックオフ
- 10/9 ウィンタープログラム申込一般受付開始
- 10/11-13 三菱商事・東京YMCA 秋の山中湖キャンプ
- 10/13 会員ソフトボール大会
- 10/18-19 幼児野外活動「にこにこ」小学生野外活動「ロビンソン」合同10月例会(一泊会)
- 10/22 ボランティアリーダー感謝会
- 1025-26 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」10月例会(一泊会)

10月のパースデイ 伊佐ワイズ 10,21 笠利ワイズ 10,29 野尻ワイズ 10,27

10月例会 日時 10、22日(水) 場所 西東京センター 6時45分

受付 野尻・松田ワイズ 司会 渡邊ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット

望月部長公式訪問・リーダー感謝会 8日を事務会に振り替えます。